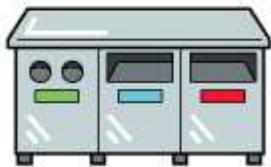


秦野市のごみの現状について



きょうのテーマ

1 可燃ごみ等焼却処理量の現状と目標

2 可燃ごみの減量に向けた食品ロス対策

3 ごみ処理経費について

平成27年（2015年）国連サミットで採択 SDGs（持続可能な開発目標）





12.5 廃棄物の発生量を減らす

2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する

天然資源の消費をできるだけ抑えて
環境への負荷が小さい社会を目指し、
ごみの減量・資源化に取り組んでいく必要がある

循環型社会の構築

秦野市と伊勢原市の可燃ごみ

令和5年度末まで

はだのクリーンセンター、伊勢原清掃工場の
2施設で共同処理



令和6年度以降

はだのクリーンセンター**1施設で処理**
⇒伊勢原清掃工場は老朽化に伴い閉鎖

はだのクリーンセンター1施設で安定的に焼却処理するためには…

➡**可燃ごみの減量が必要！**

秦野市では「ごみ処理基本計画」を策定

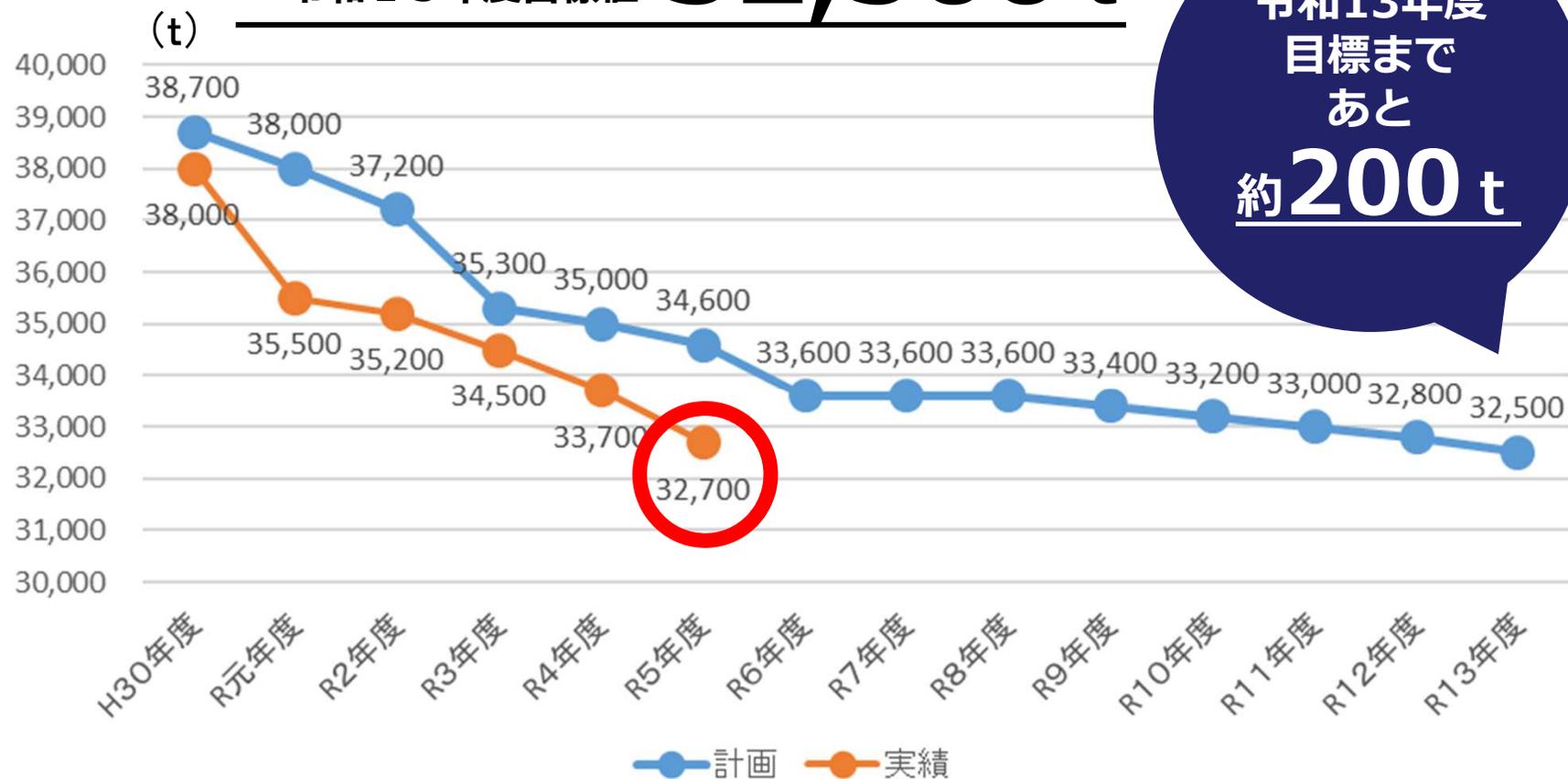
令和13年度までに

可燃ごみを約32,500tまで減量

という目標を設定

計画と実績

ごみ処理基本計画上の
令和13年度目標値 **32,500 t**



令和13年度
目標まで
あと
約200 t

きょうのテーマ

1 可燃ごみ等焼却処理量の現状と目標

2 可燃ごみの減量に向けた食品ロス対策

3 ごみ処理経費について

可燃ごみを減量するためには？

- ・分別を徹底して資源化を行う
- ・生ごみの水切りを徹底する
- ・事業系ごみの減量を推進する ...など

特に

食品ロスの削減

を推進しています



「食品ロス」とは...

まだ**食べられる**にもかかわらず

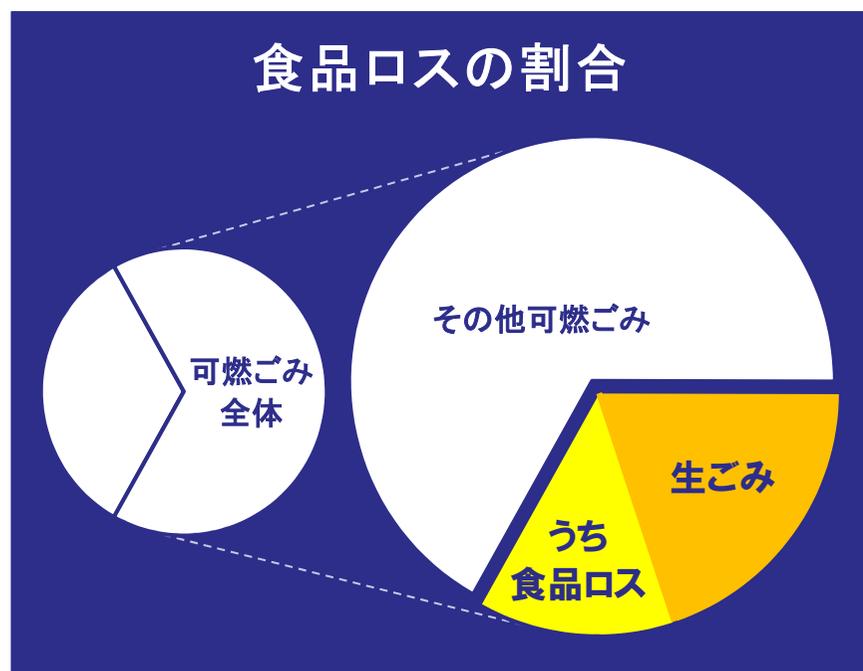
廃棄されてしまう**食品**のこと

まだ食べられるのに
廃棄された食品例



秦野市の食品ロス（令和3年度組成分析調査結果から推計）

年間 約3,900トン 市民一人1日当たり 約65g



可燃ごみ全体に占める割合

約 **15%**

- ・ 可燃ごみ（家庭系）：約 **25,400 t**

生ごみに占める割合

約 **40%**

- ・ 生ごみ（家庭系）：約 **9,700 t**
(可燃ごみの約40%)

食品ロスを減らせば、はだのクリーンセンター
1施設での安定処理が可能になります。

令和13年度目標まであと、**200 t**



市民1人が1日あたり**約3.5g**
可燃ごみを削減すれば目標達成が可能

日々の小さな積み重ねが大きな力となりますので
御協力をお願いします。

食品ロス削減のために・・・

- 買い物前に
冷蔵庫の食材を確認！
- 「賞味期限」は
まだ食べられる！
- 食材を適切に保存して
使いきる！



きょうのテーマ

1 可燃ごみ等焼却処理量の現状と目標

2 可燃ごみの減量に向けた食品ロス対策

3 ごみ処理経費について

ごみ処理に係る経費

- 年間 約22億円

(ごみ処理に係る令和5年度実績見込み ※事務費等を含む)

- 市民一人あたり 約13,400円

ちなみに……

- 秦野市一般会計： 約560億円
(令和5年度決算見込み)
- ごみ処理経費が占める割合：約**4.0%**

ごみと資源の処理に係る経費（主なもの）

※令和5年度決算見込み

- **収集運搬：約 7億円**
（ごみ、資源物等の収集運搬に係る経費）
- **中間処理：約 2億円**
（資源の選別、圧縮、梱包等に係る経費）
- **焼却埋立：約 10億円**
（秦野市伊勢原市環境衛生組合における焼却・埋立等に係る経費）

資源の売却益 ※令和5年度実績見込み

約 1億1,900万円

- 古紙類 : **約 5,600万円**
- カン : **約 3,000万円**
- ハットボトル : **約 3,000万円**
- その他 : **約 300万円**